

JGAP 指導員基礎研修〈青果・穀物・茶〉の概要

JGAP 指導員基礎研修の目的

研修の目的は以下の4点です。

- ① GAP の考え方、仕組み、内容を理解する。
- ② JGAP の管理点、適合基準の全項目をケーススタディーを交えて理解する。
- ③ JGAP 指導方法を学ぶ。
- ④ JGAP 指導員(※)の資格を取る。

※団体内部監査員や審査員をお考えの方は、必須の資格となります。

JGAP 指導員基礎研修〈青果・穀物 および 茶〉内容

研修内容は以下の通りです。

- ・ JGAP 実践講座
 - GAP の基礎とその必要性
 - JGAP 認証とは？
 - GAP の導入について
 - 国内外の GAP を取り巻く状況
- ・ 「JGAP 基準文書の解説（解説・ケーススタディー・グループワーク）」
 - A. 経営の基本(管理点 1～10)
 - B. 経営資源の管理(管理点 11～22)
 - C. 栽培工程における共通管理(管理点 23～25)
 - 専用項目(スプラウト類、きのこ類、精米、麦、仕上げ茶)
 - 以下、青果物・穀物共通の研修のみ
 - ◇ 「JGAP 青果物」と「JGAP 穀物」との差異項目
- ・ JGAP 総合規則
 - 審査・認証について
 - 審査のタイミング、種類、有効期限、申込方法等
 - 消費者向け JGAP マークの表示
- ・ 質疑応答
- ・ 試験配布・説明
- ・ 受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

・JGAP 指導員基礎研修には試験があります。試験は持ち帰りの試験です。研修終了時に試験用紙を配布いたしますので、解答のうえ、提出期限までに GAP 総合研究所まで送付してください。送付の際、郵送事故が起こる可能性もありますので、必ずコピーを取りコピーを送付してください。(原本

はお手元に保管して下さい)

- ・合格基準は以下の通りです。
 - 研修期間中の出席時間が全体の90%を超えていること かつ
 - 試験の得点が80点を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・採点の結果、合格した受講者には合格証を送付いたします。また、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。(試験受領から合格証送付までにおおむね 1.5 ヶ月の期間を要します)
- ・試験の得点が80点未満の受講者は、1か月以内に1度だけ試験を再提出することができます。試験の再提出をしても不合格となった受講者には、修了証を送付いたします。
- ・研修期間中の出席時間が90%に満たない受講者は、12か月以内に1度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。